

保護者 様

今治市立伯方中学校 渡邊 伸

学校評価の集計結果について

雨水の候、保護者の皆様におかれましてはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。日頃より本校の教育活動にご支援・ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

二学期末に実施した学校評価アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。この評価結果を基に、職員会議・学校関係者評価委員会を実施し、より良い学校づくりのために検討を行いました。生徒がより良い学校生活を送れるよう学校運営の改善と発展を目指していこうと考えておりますので、今後ともよろしくお願いいたします。

1 学校の教育目標の達成状況（概要）

学校の教育目標「豊かな心を持ち、主体的に行動する生徒の育成」の達成に向けて、四つの重点目標「豊かな心の育成と真の仲間づくりを目指す教育活動の推進」「確かな学力を身に付けさせる主体的な学習活動の推進」「心身の健康を保障する教育活動の推進」「郷土を愛する心を育てる教育活動の推進」を掲げ、教育活動に取り組んでいる。

重点目標と具現策に関する評価結果

A：そう思う B：まあまあ思う C：あまり思わない D：思わない

(1) 豊かな心の育成と真の仲間づくりを目指す教育活動の推進

	評価項目	A	B	C	D
生徒	互いを大切にする仲間意識や 人権意識の育成	56%	42%	2%	0%
保護者		53%	44%	0%	2%
教職員		54%	31%	15%	0%

(2) 確かな学力を身に付けさせる主体的な学習活動の推進

	評価項目	A	B	C	D
生徒	分かりやすい授業の実現	20%	58%	18%	4%
保護者		23%	51%	23%	2%
教職員		54%	46%	0%	0%

(3) 心身の健康を保障する教育活動の推進

	評価項目	A	B	C	D
生徒	いじめ問題や生徒の悩みに対する 寄り添った対応	29%	55%	13%	4%
保護者		40%	42%	16%	2%
教職員		69%	31%	0%	0%

(4) 郷土を愛する心を育てる教育活動の推進

	評価項目	A	B	C	D
生徒	将来の「生き方」に対する意 識の高まり	71%	27%	2%	0%
保護者		33%	51%	16%	0%
教職員		69%	31%	0%	0%

2 主な取組の課題と改善

(1) 豊かな心の育成と真の仲間づくりを目指す教育活動の推進

運動会や文化祭などの学校行事を通して、生徒同士が切磋琢磨する機会が多々あったが、ふだんの学校生活において相手のことを思いやる言動が見受けられない場面も少なくない。全教育活動の中で、人権・同和教育のより一層の充実に努める必要がある。

(2) 確かな学力を身に付けさせる主体的な学習活動の推進

授業の内容が分かりにくいと感じている生徒が一定数いることを踏まえ、全教職員がユニバーサルデザインを取り入れた授業を心掛け、生徒の実態に応じた授業改善を積極的に行っていくことが課題である。

ア 家庭生活におけるチェックリストを実施し、家庭での過ごし方の把握に努めた。生活習慣と学習習慣の確立を目指すため、個人別懇談会で保護者の方にも協力をお願いした。

イ テスト期間中の放課後に自習室を設けた。家庭で学習するよりも集中できるといった生徒の声が聞かれた。今後は、学習意欲が低い生徒にも声を掛け、継続的に学習支援を行っていくことが課題である。

(3) 心身の健康を保障する教育活動の推進

全校生徒がスクールカウンセラーとの面談を行い、心身の健康状態の把握やいじめ問題等の早期発見に努めた。しかし、生徒の肯定的な評価は低いため、スクールカウンセラーとの連携を密にして、複数人による生徒に寄り添った対応をしていくことが課題である。

(4) 郷土を愛する心を育てる教育活動の推進

調べ学習や体験活動に積極的に取り組む生徒が多く、文化祭での発表を通して、他学年の活動に対する興味が高まり、生徒や教職員の肯定的な評価が高かったと分析できる。保護者や地域の方にも、学習の内容や様子を、より分かりやすく発信していくことが課題である。

3 その他

(1) 業務改善について

I C Tを有効に活用することで、業務時間の短縮につながっている。また、I C T支援員のサポートを受けながら、校務の効率化を図った。

ア 定期テスト等の採点をコンピュータが自動で行うことで、採点時間を大幅に短縮させた。

また、正答率を分析することで、個別最適な学習指導につなげている。

イ 全校生徒や保護者を対象にしたアンケート調査等を、紙媒体から電子媒体に代えることで、配布・集計・分析の時間を大幅に短縮させた。

(2) 学校評価アンケートの結果について

二学期末に生徒、保護者、教職員を対象に実施した「学校評価アンケート」の結果が、次の表である。

令和7年度 学校評価アンケート

□ A…よくあてはまる(4) □ B…ややあてはまる(3) □ C…あまりあてはまらない(2) □ D…あてはまらない(1)

評価項目		0%	20%	40%	60%	80%	100%	平均		R6	R5	R4
1	生徒は、運動会や文化祭などの学校行事や部活動などに、意欲的に参加し、積極的に活動していると思いますか。							3.5		3.5	3.6	3.4
	保護者							3.6	3.6	3.6	3.7	3.6
	教職員							3.6		3.8	3.8	3.6
2	生徒にとって、大洲での集団宿泊研修、職場体験学習(ものづくり体験講座)、修学旅行、福祉体験活動などの体験活動は、充実していると思いますか。							3.8		3.8	3.7	3.8
	保護者							3.8	3.8	3.6	3.7	3.6
	教職員							3.8		3.9	3.8	3.7
3	地域についての調べ学習(1年)や地域と連携した職場体験学習(ものづくり体験講座)(2年)、地域へ啓発する人権啓発劇への取組(3年)等の学習で、生徒の将来の「生き方」についての意識は高まってきていると思いますか。							3.7		3.5	3.6	3.7
	保護者							3.2	3.5	3.1	3.2	3.2
	教職員							3.7		3.4	3.7	3.5
4	学校は、いろいろな教育活動を通して、お互いを大切にする仲間意識や人権意識が育つよう、工夫して教育活動を続けていると思いますか。							3.5		3.6	3.5	3.6
	保護者							3.5	3.5	3.5	3.6	3.5
	教職員							3.4		3.6	3.4	3.5
5	学校は、いじめ問題や生徒の悩みに対し、教育相談や個別の支援、家庭と連携しながら、複数の教職員による生徒に寄り添った対応ができていていると思いますか。							3.1		3.4	3.4	3.5
	保護者							3.2	3.3	3.2	3.3	3.2
	教職員							3.7		3.6	3.5	3.5
6	学校は、登下校時の交通安全や避難訓練など、事故や災害から身を守るために、適切な安全指導を行っていると思いますか。							3.5		3.7	3.6	3.6
	保護者							3.4	3.5	3.3	3.4	3.3
	教職員							3.7		3.9	3.4	3.4
7	学校は、家庭や地域で、自ら進んで気持ちの良い挨拶ができる生徒を育てるために、継続して指導、支援を行っていると思いますか。							3.2		3.4	3.4	3.4
	保護者							3.1	3.1	3.2	3.3	3.4
	教職員							2.9		3.5	3.2	3.5
8	学校は、生徒の家庭学習習慣の定着を目指した取組を工夫し、継続して指導、支援をしていると思いますか。							2.8		2.8	2.8	3.1
	保護者							2.4	2.8	2.6	2.8	3.0
	教職員							3.3		3.3	3.3	3.5
9	学校は、授業内容を工夫し、分かりやすい授業を行っていると思いますか。							2.9		3.4	3.3	3.4
	保護者							3.0	3.1	3.0	3.1	3.1
	教職員							3.5		3.6	3.1	3.1
10	学校は、案内状やホームページなどを利用して、家庭や地域に向けて適切な連絡や情報を発信していると思いますか。(保護者対象)							3.4		3.3	3.4	3.3
	生徒											
	教職員											
11	特定の教員が一人で抱え込むことなく、複数の教員による組織的な業務の遂行ができていると思いますか。(教職員対象)							3.1		3.3	2.8	2.9
	生徒											
	保護者											
12	週2日間の休養の確保と季節ごとの活動時間を厳守して部活動を行っていると思いますか。(教職員対象)							3.6		3.8	3.3	3.6
	生徒											
	保護者											
13	時間外勤務時間を短縮するため、見通しを立てながら効率的な業務の遂行に努めたと思いますか。(教職員対象)							3.2		3.4	3.0	2.9
	生徒											
	保護者											